

## 連絡文第 19-2号

# 関ヶ谷市民の森愛護会

## (平成 19 年度第2回役員会の報告等)

平成 19 年 7 月 9 日

### ホタル幼虫の飼い方

(吉田文雄相談役)

去る 6 月 26 日の火曜日、「関ヶ谷の森」に再びホタルが飛び始めました。去年の夏、皆で知恵を絞って計画書を作り、資金集めと関係先の調整を図り、一方で数名の会員がホタル幼虫を飼育して、この日のためにそれこそ背水の陣でやってきたのですから、喜びも一入でした。これを機に金沢の自然環境の素晴らしさを実感し、残された自然の維持保全に心掛けたいものと思います。

さて、7 月に入ると飛ぶホタルの数がウント増えました。毎夜 50 頭程度のホタルが瞬きそちこちで光を放ちながら空中遊泳する様は、夢幻の別世界を想わせます。来年はもっと多くのホタルが飛ぶよう、幼虫を飼う仲間が増える事を楽しみにしています。

では、そろそろ本題に入りたいと思います。今回は「ヘイケボタル幼虫」の飼い方について、一通りの流れをご説明します。なお、日常の具体的な飼い方のノウハウについては、今回飼育を担当された鈴木さん、宮本さん、戸次さん、橋本さん四人の体験談を参考にされると良いでしょう。

飼い方にはいろいろありますが、わが関ヶ谷では、秋口（9 月上旬）に 2～3mm の大きさの幼虫から飼って、秋、冬、春の半年余りを飼育し、1～1.5cm の大きさにまで育てます。5 月頃になると餌も殆ど食べなくなり容器を這い上がろうとするので、6 月には「ヘイケボタルの池」に放流してやります。放流した幼虫は間もなく上陸し、蛹になって 2～3 週間を過ごし、気温の上昇とともに成虫し羽化して水辺を飛び始めます。さらに、成虫したホタルを、交尾→産卵→ふ化→幼虫になるまで飼育するのも又楽しいのですが、これには少々テクニックが必要なので来年当たりからにしましょう。

#### 幼虫の飼い方その①：準備するもの

バイキングなどで料理入れに使うステンレス製のトレイ・水に酸素を供給するエアーポンプ一式（ポンプホース、エアーストーンを含む）・スポイト・水槽清掃用の小網・幼虫の隠れ家となる植木鉢などのカケラ・水温計測用の水温計・タニシやカワニナなどの餌等

#### 幼虫の飼い方その②：餌（えさ）

ヘイケボタルは、池、沼、田んぼ等に生息しているので、カワニナよりもタニシやモノアラ貝等を好みます。我が「ホタルの里」では、目下、タニシを増殖中ですが、これだけ

では今期中の絶対量が不足しますので、将来田んぼ等で大量に捕獲し、冷凍して必要量を確保する必要があります。そして、飼育する会員に配布します。

### **幼虫の飼い方その③：環境**

飼育器たるトレイの状況を自然の環境に近づけるため、その置場所を陽の当たらない軒下とか、温室調整のない玄関先に置きます（ポンプの電源が取れるようにしましょう）。

### **幼虫の飼い方その④：水質の維持と水替え**

水は水道水で十分ですが、水替えは最低限月一回は必要です。泡が出るようになったら必ず取り替えましょう。

### **幼虫の飼い方その⑤：水温**

水温は秋口で27～28℃から寒い時で4～5℃まで変化します。水温が上がると酸欠が生じ水質が悪化するので水替えを多くしてこれを防止します。ただ、幼虫は、寒さには強く、表面に氷が張っても左程の影響はありません。

### **幼虫の飼い方その⑥：いよいよ実践**

まず、縦横深さ30×20×8cm位のトレイに、3～5cmの深さの水を張ります。次に、エアープンプを設置稼動して水に空気を溶かし込み、幼虫の隠れ家となる鉢等の素焼きのカケラを2～3ヶ水中に入れます。幼虫は、200～400頭を目途に育てます。

餌は、週に1回程、冷凍タニシを2ヶ程割り、貝殻を除いて、肉の部分を入れます。餌をやるタイミングは、幼虫が動き出す夕方が良いでしょう。関ヶ谷付近に棲息するカワニナをやる場合も割って貝殻を除きます。

餌は成長に伴い次第に多く与えるようにして下さい。食べ残しを確認し、必要なら間隔を調整して下さい。冬場は水温が下がり食い付きが悪くなるので量を減らして下さい。

11月頃には7～8mmに成長します。この頃になると水中で発光するようになります。逆に、成長せずいつまでも小さいままの幼虫もありますが、これらは2年保育の幼虫として別途飼い続けます。今年、皆で飼った2千頭弱のうち約350頭は発育不良のため、越谷の花田苑に返し来年の羽化を期しました（花田苑は、これらホタルの故郷であり、ヘイケボタルの大好きなモノアラ貝が沢山住んでいます）。

幼虫は、成長に伴い4回の脱皮を繰り返して成虫になります。脱皮の皮や糞、餌の貝殻や食べカス等のゴミが沢山出るので、トレイの清掃はスポイトや小網などを使って丹念に行ってください。その際、幼虫と一緒に捨てることのないようスポイトで注意深く分別し、幼虫を保護します。幼虫は、振動を与えるとすぐ丸まって小さくなり、小さい幼虫では分別しにくくなるので注意が必要です。

春になって暖かくなって来たら、幼虫に精を付けさせるため、餌を沢山与えてやって下さい。トレイの側面を昇ったり、素焼きのカケラに上ったりし始めたなら上陸の合図です。そして、飼育は完了します。

愛護会ノメンバーが自らの手で育て上げたホタルが「関ヶ谷の森」で光を放ちながら飛び交う姿を見るのはこの上ない幸せです。これが関ヶ谷の風物詩となるよう皆なで努力し頑張り続けましょう！

以下は、平成19年7月7日開催の「第2回定例役員会」での決定事項等です。

### [I] 今後の公式活動予定

7月21日(土) 公式活動(草刈り、炭焼窯開き、夏祭出店準備)  
8月 5日(日) 公式活動(草刈り、製材、炭材作り、腐葉土困修理等)  
18日(土) 公式活動(草刈り、製材、炭焼準備、階段補修等)  
9月 2日(日) 公式活動(草刈り、製材、階段補修、炭焼き等)  
15日(土) 公式活動(草刈り、製材、炭焼釜開き等)

(注) 公式活動日は、原則、各月の「第一日曜日」と「第三土曜日」とします。

### [II] 今後のパトロール予定

7月15日(日)	入部 信寿	吉川 征治
22日(日)	中村 清一	日高 清之
29日(日)	橋本 順二	橋本 弘子
8月 5日(日)	平野 利治	星野 洋
12日(日)	飯野 光吉	池田 陽一
19日(日)	大木 通宏	加藤 文明
26日(日)	小倉 征子	森 貴美江
9月 2日(日)	門田 教与	斎藤 和子
9日(日)	古賀 卓郎	佐野 庄次
16日(日)	塩山 裕子	立川 成江
23日(日)	鈴木 勲	鹿谷 元良
30日(日)	惣谷 実	篠原 英男

(注) パトロールは、「巡回チェックリスト」に拠って行い、その結果は、「巡回チェックリスト」を徳岡総務担当役員宛、FAX(\*\*\*-\*\*\*\*)か、電子メール(\*\*\*\*\*)によって報告して下さい。

### [Ⅲ] 各クラブ等の活動状況

#### (1) 順調に進展するホタル復活事業

- ① 6月初頭、会員各位の忍耐強いご協力により、遂に「ほたるの里」を完成する事が叶いました。残るは、幼虫飼育用の小型ログハウスの内装と木道の補強のみです。
- ② 6月3日、釜利谷南小学校の学童を招いて、私どもと学童が育てた「ハイケボタル」の幼虫800余頭を「ほたるの里」へ放流する行事を行いました。
- ③ 羽化は順調に進み、6月下旬数十頭、7月上旬には五六十頭の飛翔が見られました。
- ④ 7月6日夜、会員家族やご近所へのご披露を兼ねて、「ホタル観賞会」を挙行了しました。いつもは静かで暗い「ほたるの里」が、百数十名の見物客で賑わいました。
- ⑤ この感動を孫にも味あわせたいとする会員から、今期ホタル幼虫を飼育したいとの要望も寄せられています。ご参考に、今回飼育を経験した会員の飼育記録を以下に簡単に纏めて見ました。トレイ、モーター等器具類は愛護会から支給されました。

イ. 飼育期間：前年9月9日から本年6月3日までの268日間  
＝38週間＝約9ヶ月（一週間程度の旅行は可能）

ロ. 水の交換：夏場は頻繁に冬場は少な目にして合計37回  
＝一週間に一回程度

ハ. 餌と回数：市民の森のカワニナや吉田会員から配給されるタニシで冷凍したものを一回につき数個ずつ殻を砕いて与えた。回数は計72回＝一週間に二回程度

#### (2) 炭焼事業と夏祭りへの出店準備

炭焼きは、去る7月1日に実施しました。次回活動日7月21日には、炭焼き窯を開くとともに、その翌22日開催の「山の手自治会夏祭り」での竹炭、竹酢液等の販売やコースター造りのための出店準備をします。

#### (3) 園芸クラブ

6月30日、「いこいの広場」の花壇に、夏秋用の花として美しい色とりどりの「日々草」などの植付けを行いました。花壇クラブ員のご協力を有難う御座いました。また、同広場上の斜面に「芝桜」の植付けが緒に付いたほか、「山の手入り口」の花壇も花の種類が増え一段と賑わいを見せています。尚、予てお約束の腐葉土囲の補修を宜しく。

### [Ⅳ] 次回定例役員会

次回定例役員会は、9月8日（土）午後7時から、「山の手自治会館」において開催されます。万障お繰り合わせのうえご出席下さい。

関ヶ谷市民の森愛護会会長 鈴木 勲

（編集・文責 文書担当 宮本英利）